

公益財団法人橘秋子記念財団 令和3年度事業報告書

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

1. バレエ芸術の優秀な成果に対する表彰

橘秋子賞

- ① 令和3年度に受賞者の選考を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により、実施されなかった公演もあり、選考を中止した。
(選考委員:伊地知優子氏、うらわまこと氏、三谷恭三氏、山野博大氏)
- ② 埼玉県舞踊協会主催による埼玉県舞踊コンクール(令和3年7月)の各部1位入賞者(7名)へ、橘秋子賞として盾(ブロンズ)を授与した。

2. 奨学金の授与

ジャパンダンスコンペティションの結果を踏まえて選考を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染者が増え、緊急事態宣言が発出されジャパンダンスコンペティションを中止したため、今年度は該当者の選出がなかった。

3. 盛田正明スカラシップ制度

盛田正明氏によるバレエダンサー人材育成のための寄付金を中心として、毎年将来性のあるバレエ塾生1名(2学年制で年2名)に対して授業料免除及び奨学金(月3万円)付与する制度が令和3年度から実施された。3年度は、小池京介氏が該当した。令和4年度のスカラシップ生として大平 歩氏が選考され、3月29日(火)新宿文化センター大ホールロビーで授与式を執り行った。

4. バレエ公演の開催事業等

(1) 児童のためのバレエ芸術の指導とその発表

- ・東京会場では、週1回月3回、児童を集め、バレエの指導を行った。
- ・新潟会場では、年間12回指導を実施した。
- ・また、その成果を発表する場として、8月7日(火)なかのZEROホール(東京・中野区)にて、「第46回日本ジュニアバレエ公演」を実施した。
参加人数:84名、内訳生徒82名、ゲスト2名
入場者数:524名、内招待39名(会場座席収容率50%として実施)

(2) 青少年に対するバレエ芸術の後継者育成事業(牧阿佐美バレエ塾)

・牧阿佐美バレエ塾

年齢:15歳~22歳

人数:5名(内訳:純塾生3名、延長者1名、スカラシップ生1名)

レッスン及び講座:週5回8月休み年11か月(午前10時~午後5時)

・牧阿佐美バレエ塾小・中学生コース

小4~高校1年生の生徒40名程度月に3回、ただし8月休み

・夏休み特別クラス:8月12(水)、13(木)、14(金)

受講者 小学生①(小4~6)16名、小学生②14名

中学生18名、高校生~22歳14名

- ・冬休み特別クラス：12月28（火）、29（水）、30（木）、31（金）
受講者 小学生（小4～6）19名、中学生18名
高校生～22歳13名、大人27名
- ・牧阿佐美バレエ塾発表会
令和4年3月29日（火）新宿文化センター大ホールにおいて実施。
参加人数：39名（内訳：塾生3名、修了生10名、スカラシップ生1名、
小学生コース5名、中学生コース16名、ゲスト4名）
入場数：476名 内招待60名

（3）ジャパンダンスコンペティションの開催

次代を担う優れた才能を発掘し育成することを目的として、5月1日（土）、2日（日）の2日間、なかのZEROホール（東京 中野区）にて「第8回ジャパンダンスコンペティション」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染者が増え、緊急事態宣言が発出されたため中止した。

5. 国内外で実績があるバレエ教師、振付師の招聘
実績があるバレエ教師による講習会は、新型コロナウイルス感染症拡大等のため実施出来なかった。
6. 会報の発行
「バレエ・エスカイア」は、不定期に発行。今年度は発行しなかった。
7. その他の事業
上記の事業を達成するために必要な寄付金募集活動を行なった。